

一般試験採用スケジュール

一般職 [大卒程度試験]

	近畿地方整備局	人事院
2月		受験申込
3月		
6月	業務説明会(合同・個別)	第一次試験 第一次試験合格発表 官庁合同業務説明会
7月	官庁訪問 業務説明会(個別) 官庁訪問	第二次試験(人物試験)
8月		最終合格発表
10月	採用内定	

一般職 [高卒者・社会人(係員級)]

	近畿地方整備局	人事院
5月		
6月		受験申込
9月	業務説明会(合同・個別)	第一次試験
10月	官庁訪問	第一次試験合格発表 第二次試験(人物試験) 官庁合同業務説明会
11月		最終合格発表
12月	採用内定	

※採用スケジュールは令和7年度を参考に作成しています。最新の情報は人事院ホームページ・近畿地方整備局採用ホームページをご確認ください。

最近の採用状況

一般職 [大卒程度]

試験区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性
行政	21	10	27	12	20	7
土木	18	8	11	3	12	1
電気	2	0	2	0	1	0
機械	2	0	4	0	2	0
建築	2	1	3	2	2	1
物理	1	1	2	0	2	0
化学	4	1	0	0	1	1
農学	5	3	8	3	5	2
林学	4	0	6	2	1	1
合計	59	24	63	22	46	13

一般職 [高卒・社会人(係員級)]

試験区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性
事務	4	1	11	5	5	2
技術(土木)	11	5	17	0	12	4
技術(機械)	0	0	1	0	1	0
技術(電気)	2	0	5	1	2	0
技術(建築)	0	0	0	0	1	1
農業土木	3	0	2	0	3	1
林業	0	0	0	0	0	0
合計	20	6	36	6	24	8

経験者採用・中途採用

試験区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性	うち女性
課長補佐級(事務)						
課長補佐級(技術)					3	0
係長級(事務)	10	3	3	0	6	2
係長級(技術)	9	0	10	0	14	0
係員級(事務)	0	0	1	0	0	0
係員級(技術)	1	0	6	0	7	1
合計	20	3	20	0	30	3

(令和7年10月1日現在)

※令和7年度に新設された「教養」区分では、事務系・技術系から採用職種を選択できます。

お問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局

〒540-8586 大阪市中央区大手前 3-1-41 大手前合同庁舎6~9階

事務系 総務部人事課任用係 技術系 企画部企画課企画第一係

☎ 06-6942-1141 (代表)



各駅からのアクセス 大阪メトロ谷町線 「谷町四丁目」駅1-A・1-B出口から徒歩約3分

もっと知りたい方へ

近畿地方整備局 採用サイト

官庁訪問やイベント・説明会のご案内、採用に関する最新情報はこちらをチェック!

採用サイト



X



Instagram



近畿地方整備局 ホームページ

パンフレットには掲載されていない、事業内容などを詳しく紹介しています。工事現場の見学案内(魅せる現場)を紹介したページもあります。

ホームページ



魅せる!現場



人事院

国家公務員試験に関する情報などを掲載しています。

国家公務員試験採用情報NAVI



RECRUIT GUIDE

明日の近畿をつくる

MLIT

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

明日の 近畿をつくる

近畿はかつて政治や経済、文化の中心地でした。

その地域の力は、いまに受け継がれ

大都市が点在し、多くの人々が暮らし、産業が栄えています。

私たちの仕事は、地域の活力をさらに高め

より力強い近畿をつくることです。

交通や物流のネットワークを整備・管理する。

災害に備えたまちづくりを進め

安全で快適な暮らしを守る。

まさに将来を見据えた

近畿の未来をつくる仕事です。

国にしかできないこのダイナミックな仕事に

あなたの力を思う存分に発揮してください。



組織概要

国土交通省

北海道開発局

東北地方整備局

関東地方整備局

北陸地方整備局

中部地方整備局

近畿地方整備局

中国地方整備局

四国地方整備局

九州地方整備局

その他(海上保安庁、気象庁、地方運輸局など)

TIPS

事務所

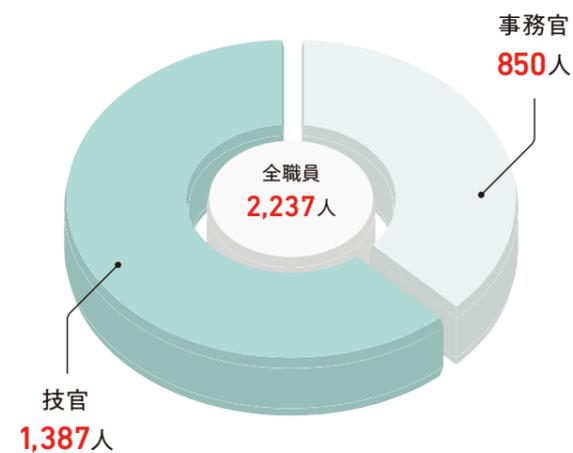
管内全域に配置された34の事務所は、それぞれの地域で工事や維持管理業務などを担当。地域それぞれの特徴を活かしながら河川事業、道路事業、港湾事業、空港事業、営繕事業などを進めています。

出張所

事務所の出先機関として出張所があります。

事務所 出張所

近畿地方整備局 職員数



(令和7年4月1日現在)



自治体との違いは何？

整備局は、複数の府県や市町村にまたがる大規模で広域的かつ技術的にも高度な事業を行います。また、地方自治体に対して地域づくり・まちづくりへの指導・助成や災害時の支援なども行っています。

凡例

- 本局
- 河川・道路
- 河川(ダム・砂防含む)
- 道路
- 港湾・空港
- 港湾
- 公園
- 営繕
- 技術

※近畿地方整備局は、大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県・福井県の全域と三重県の一部地域を管轄しています。
※福井県の港湾・空港関係業務は、北陸地方整備局の管轄になります。
※淀川河川事務所では公園の整備も行っています。

近畿地方整備局の事業



近畿地方のインフラ整備を行い、安全・安心を確保し、経済活動を支えています。

安全・安心を実現する

河川事業

人々の豊かな暮らしに欠かせない河川ですが、時には地域の安全を脅かすこともあります。ダムや堤防の整備、水辺の環境づくりなど、地域に愛される「かわづくり」を進めています。



足羽川ダム

九頭竜川の上流では、福井市街地を含むダム下流地域を洪水被害から守る、日本最大級の「流水型ダム」を整備しています。



阪神なんば線
淀川橋梁架替

淀川の下流部では、大都市・大阪の中心地を洪水・高潮被害から守るため、支障となっている鉄道橋梁を架け替えています。



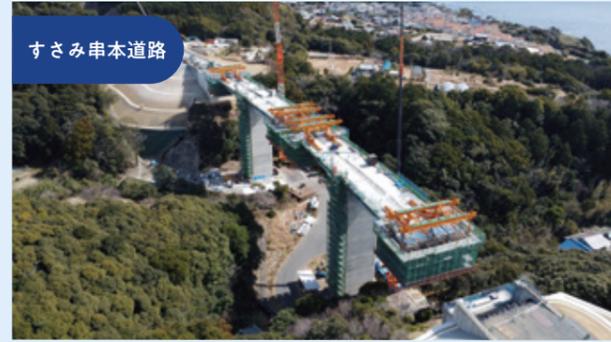
中郷遊水地

円山川の中流部では、自然豊かな湿地の再生と合わせ、洪水被害から豊岡市街地を守る遊水地を整備しています。

未来の暮らしの大動脈をつくる

道路事業

道路は日常生活や社会・経済活動などを幅広く支える、身近で重要な社会基盤です。活力ある地域づくりに貢献する、安全・便利・快適な道路サービスの提供に取り組んでいます。



すさみ串本道路

津波などの災害時には避難場所や緊急輸送路として機能し、和歌山南部地域の防災力向上に貢献する道路を整備しています。



大和北道路

京都・奈良・和歌山を結ぶ京奈和自動車道の一部として、生産性の高い物流ネットワークの構築に貢献する道路を整備しています。



野洲栗東
バイパス

国道8号において、野洲市～栗東市間の地域の交通混雑の緩和を図るバイパス道路を整備しています。

国際競争力を高める「みなと」をつくる

港湾事業

港は多くの人・モノが行き交う重要な拠点です。国際競争力のある物流ネットワークや国内物流基盤の整備に取り組んでいます。また、津波対策や海辺環境の創造を通じて、暮らしと経済を支えます。



舞鶴港

近畿北部を発着するコンテナ貨物・バルク貨物の輸送効率化を図るため、岸壁や臨港道路などを整備しています。



神戸港

我が国経済の国際競争力強化のため、大型コンテナ船や増大する取扱貨物量に対応できる岸壁や航路、物流の効率化に資する臨港道路を整備しています。



和歌山
下津港海岸

世界的なシェアを誇る産業が集積する和歌山下津港海南地区を南海トラフ巨大地震にともなう津波被害から守るため、水門・護岸を整備しています。

地域の魅力をさらに引き出す

公園事業

近畿地方は、豊かな自然や歴史・文化が息づく魅力的な地域がたくさんあります。公園整備を通じて、これら地域の魅力をもっと引き出し、人々が集い楽しむ空間を創造します。



淀川河川公園

広大な淀川河川敷を利用して、大阪・京都を結ぶ、水と緑の安らぎの空間として整備をしています。



国営平城宮跡
歴史公園

奈良時代、日本の中心だった平城宮跡では「奈良時代に今を感じる」空間の創出に向け「第一次極楽院」の復原整備をしています。



国営明石海峡公園
(淡路地区)

かつて緑を失った大規模な土取場跡地の自然を回復し、立体的で多品種の花壇デザインによる美しい花の景色を創出する空間として整備をしています。

近畿地方整備局の事業

建設機械 が安全・安心を支える

機械設備

ダム・水門などのゲート設備やトンネルの換気設備など、河川・道路施設が確実にその機能を発揮するには機械設備が不可欠です。最先端の機械設備技術を活かし、地域の安全・安心を支えます。



除雪車両の整備

福井県など豪雪地帯で活躍する除雪機械の点検・整備を通じ、冬の安全で円滑な交通の確保に貢献しています。



瀬田川洗堰

淀川流域の治水・利水の要である瀬田川洗堰。琵琶湖からの水の流れを調整するのに不可欠なゲート等の点検・整備を行い、流域の安全を守っています。



嵐山可動式止水壁

史跡及び名勝・嵐山地区の景観と治水を両立する、全国唯一の可動式止水壁。洪水時に役割を果たせるよう、日頃から動作確認などの点検が欠かせません。

インフラの基盤 として活躍する

電気通信設備

インフラ施設の稼働や災害対応には、無線・衛星・光ファイバーなどの通信ネットワークや各種情報システムが欠かせません。最先端の技術を駆使して事業推進を支えています。



ダムコン (ダム管理用制御処理設備)

ダムの放流量をコントロールし、洪水時だけでなく日々の安定した水利用に貢献しています。



AIを活用した降雪時のスタック車両検知

道路状況を監視しているカメラ映像をもとに、AIが画像解析により降雪時のスタック車両を早期に検知し、深刻な車両滞留を未然に防ぎます。



再生可能エネルギー

道路の空き空間を利用し、太陽光発電施設を整備し、電気を既存施設に利用することでCO2削減に貢献しています。

こだわり の公共建築

官庁営繕

庁舎をはじめ研究施設や文化施設、歴史的価値の高い建築物など、国の行政に必要な施設の整備や保全指導を行っています。また、災害対策拠点となる官庁施設を整備することで、防災機能強化も推進しています。



大手前合同庁舎

近畿地方整備局が入居する大手前合同庁舎は、免震構造による防災力の高い庁舎であり、省エネ技術を導入した環境にも配慮した庁舎です。



京都国立博物館 平成知新館

展示室全体を守る免震構造、最新の映像設備を誇る講堂、庭を眺望できるレストランなど、新しい魅力に満ちた展示館です。



万博日本政府館

円形に配置された260枚の木材は、「命の循環」を表現しており、建物体後は別の用途で再利用される予定です。

技術力 で地域を守る

災害対応

国土交通省が持つ技術力を生かし、被災地の復旧を支援する TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の派遣を行います。また、防災知識の普及啓発活動や防災訓練など、防災・減災対策にも取り組んでいます。



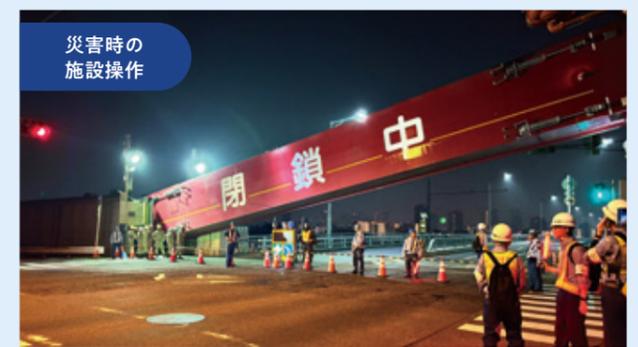
被災箇所の調査

令和6年1月の能登半島地震では、被災自治体支援のため緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」が現地調査等に活躍しました。



応急対策支援

国が管轄する河川や道路の災害だけでなく、自治体から要請があった場合、排水ポンプ車などを派遣し現地の応急対策にあたります。



災害時の施設操作

施設を作るだけでなく、ダムや樋門、陸閘(りっこう)等を確実に操作し、地域住民の生命と財産を守っています。また、そのための訓練も欠かせません。

職員のしごと 技官

各分野が専門性を発揮し、互いに連携しながら業務に取り組んでいます。

計画



社会インフラ整備の「土台」をつくる。

道路や橋、トンネルなどの社会インフラを計画する仕事をしています。管内の交通渋滞や産業物流、自然災害といった課題に対し、さまざまなデータを活用して調査・分析を行い、最適な道路計画を提案します。計画は市町村と連携して進められ、まちづくりの基礎となります。

京都国道事務所
計画課係員
石原 由貴

エピソード

道路整備の「土台」となる計画立案に向けて、地域の交通量や渋滞・事故発生状況などの分析等を担当しました。関係機関との調整に苦勞する場面もありましたが、大規模プロジェクトの第一歩に関わる貴重な経験となりました。**技術と地域をつなぐ橋渡し役として、課題を一つひとつ解決していく。**そのプロセスが、計画担当者の大きなやりがいと感じています。

身に付くスキル

データ分析・評価力

交通量調査や事故データなどの基礎情報をもとに**現状課題を定量的に把握し**、俯瞰的に物事を見ることで説得力のある説明ができます。

調査・設計



全国的にも数少ない「まちなか」砂防事業。

六甲山の山裾に広がる市街地や鉄道、道路などのインフラを守るため、六甲山には砂防堰堤が整備されており、それらの新設や改築、維持管理を行います。地形等の測量や地質調査から始まり、施設規模や配置計画の検討、さらに工事のための設計図や詳細設計の検討まで行います。

六甲砂防事務所
工務課長
川原崎 智也

エピソード

平成 30 年 7 月豪雨の土砂災害箇所における砂防堰堤の工事発注や地元調整を担当しました。地元説明会には多くの住民が参加し、工事の完了時期や効果など、さまざまな意見が寄せられ、みなさんが事業に大きな期待を寄せていることを実感しました。現在、その砂防堰堤が完成した姿を見て、**地域の安全・安心に貢献できたことを誇りに**思います。

身に付くスキル

応用力

自然の山を相手にする現場では、**学校で学んだ知識だけでは通用しません。**測量、地質調査など現場経験を重ねることで知識が実践に活かされます。

積算・発注



億単位の工事内容を積み上げ完成まで見届ける。

積算とは、設計成果をもとに工事に必要な費用を「積み上げて算出」することです。一見簡単そうに見えますが、使用する重機が現地で作業できるか等、現場をイメージすることが重要です。積算結果をもって、工事をお願いする建設会社を審査・選定し、契約することを発注といいます。

浪速国道事務所
工務課設計係長
川村 達暉

エピソード

発注担当は「契約したら終わり」ではなく、その**完成を見届ける責任**があります。自分が発注した橋梁工事では、工事途中で発生した様々な問題に対して、建設会社や設計を手がけた建設コンサルタント、地元、その他関係機関と連携して解決にあたりました。こうして発注した工事が現地で形になったのを目にする時は「この仕事をしてよかった」と感じます。

身に付くスキル

調整力

積極的に現場へ行き、現地状況を把握しながら**関係機関やゼネコン、建設コンサルタント、地元の方々と**関わることで、調整する力が育ちます。

施工・監督



地域との信頼関係を築きながら進めるダム工事。

ダム本体工事の施工計画から施工中・施工後の出来形管理までが監督業務です。施工者と小まめに協議し、情報共有しながら工事を進めています。また地権者との調整や、工事にもなう環境配慮、工事中・完成後の地域活性化施策検討など幅広くダムに関わる業務に携わっています。

足羽川ダム工事事務所
建設監督官
糸 純司

エピソード

ダムの本体工事はとてもダイナミックな印象を与えますが、コンクリートの扱いに関しては非常に繊細です。数種類のコンクリートを使い分けており、それぞれ管理する規格値も異なり、夏場と冬場でも扱いが異なります。これらを管理・監督する中で、おのずと**コンクリートのスペシャリスト**に近づくことができます。

身に付くスキル

現場力

現場には図面には表記されていない情報が多く存在します。また**現場は常に変化するため、何度も足を運ぶ**ことで、速やかに適切な判断が下せるようになります。

維持管理・運用



地域の安全と生活を支える大滝ダムの運用。

大滝ダムは「洪水調節」「水道・工業用水供給」「発電」などを目的とした多目的ダムです。洪水調節や水供給を適切に管理し、出水時には放流量増加にともなう下流の安全確保のため、警報の発令や巡視を実施。また、ダム堤体や貯水池斜面の挙動を常時観測し、安全を確保しています。

紀の川ダム統合管理事務所
防災情報課 水防企画係長
出水 達也

エピソード

ダム運用で重要なのが雨量予測。これを基に流入量を計算し、放流のタイミングや量を計画します。近年技術は向上していますが、降雨量やタイミングのズレが生じることも。その際は関係機関への連絡や警報などを急遽変更する必要があります。**不確実性を考慮して余裕を持った計画を立て、的確に対応**できた時には達成感を感じます。

身に付くスキル

考える力

どんなダムでも「操作規則」という運用する上でのルールブックがあります。決められたルールの中で**どのように運用していくか考える力**が身につきます。

災害対応



被災地における早期復旧への技術的支援を行う。

自然災害が起きた時に、人々の命を守り、社会の機能をできるだけ早く回復させる仕事をしています。防災計画策定や訓練、備蓄品管理といった備えから、災害発生時の情報収集、ライフライン復旧や事業再開サポートなど、各省庁や自治体、警察・消防など多くの関係機関と連携し対応します。

近畿地方整備局
災害対策マネジメント室
計画係長
畑 忠実

エピソード

能登半島地震で TEC-FORCE の活動に従事した際、被害全容が全くわからない状況で、関係者から情報収集しながら、少しずつ被災状況調査を進めました。被災状況調査の成果は、災害復旧への基礎資料として活用されます。大変でしたが、**被災地の方向に「来てくれてありがとう」と言われ、役に立てたことを光榮に**思いました。

身に付くスキル

危機管理能力

東日本大震災の教訓にある**「備えていた」としか役にはたてなかった。備えていただけでは十分ではなかった**を肝に、日々災害に備える業務にあたります。

職員のしごと 事務官

事業を進めていくうえで欠かせない事務手続きを担当しています。

経理・契約



適切な予算執行を チェックする。

道路や橋等の建設や、職員の日々の業務に必要な予算管理を行います。私たち公務員は国民の税金で仕事をしているので、何にいくら予算が使われているのか適切に管理する必要があります。そのために本局や事務所の担当者と連絡を取り合い、予算の動きを把握します。

大阪国道事務所
経理課 経理係長
荒川 奈央

エピソード

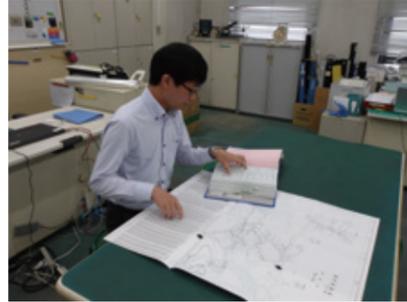
予算について相談を受けることが多く、最初は分からないことばかりで対応に苦慮しましたが、日々学んだことを活かしてスムーズに対応できた時は自身の成長を感じて嬉しかったです。**大きな金額を扱うたびに国の事業規模の大きさを感ず**、工事現場を見かけると、国の事業に携わっていることを実感し、身が引き締まります。

身に付くスキル

情報収集力

事務所内の予算の動きを把握するため、まわりの職員の**業務動向に気を配って積極的に情報収集**を行います。ミス減らすため、早めの情報共有と密な連携に努めます。

用地・補償



地権者に寄り添い 納得して土地提供してもらう。

道路を通す、堤防を築くなど、事業を実現するためにはまず土地が必要です。用地とは、必要な土地を地権者から買い受ける仕事。事業用地の面積、価値などを調査・確定し、地権者と土地売買契約を締結します。建物等がある場合は、移転費用を算出し、協議を重ね必要な補償を行います。

兵庫国道事務所
用地課 用地第一係長
中野 貴明

エピソード

どれだけ重要で必要な事業であっても、地権者にとって土地を売るという決断は人生の一大事。すぐには買収に応じていただけないことばかりです。そういった地権者と何度も面会し、こちらの考えを理解していただけたときに一番やりがいを感じます。買収した土地は工事担当に引き継ぎますが、**完成した構造物を見たときの達成感は格別**です。

身に付くスキル

理解力

相手が何を求めているのか、**どういった不安や疑問を抱えているのかを汲み取り**、対応策を検討し、相手にわかりやすく説明する力が必然的に磨かれます。

管理事務(道路)



道路の適正利用を審査し 安全性を確保する。

道路を安全に利用できるように、維持管理をしています。道路法に基づいて、新しい道路を「道路」として利用可能にする手続き(道路区域決定・供用開始)や、道路本来の目的以外に使用される場合(歩道上空に看板を設置する等)の道路占用申請の審査等を行います。

姫路河川国道事務所
道路管理第一課
道路管理係長
西村 菜月

エピソード

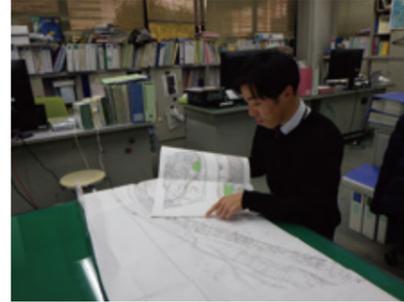
下水道を道路に埋設するための道路占用審査を担当した際、施工位置や施工方法が安全であるかを確認するため、申請担当者や関係部署と何度も調整を行いました。技術的な知識が不足しており苦労しましたが、道路利用者の安全性を確保することや、**将来の維持管理まで見据えた判断**の重要性を学ぶ貴重な経験になりました。

身に付くスキル

長期的視野

道路は長期間たくさんの人が利用します。**現在だけでなく20年後、30年後**、地域の人々が安心して利用でき、維持管理をしている視点をもつ習慣ができます。

管理事務(河川)



安全な河川利用のための 許認可を行う。

河川管理施設の維持管理や河川利用に関する許認可等を担当しています。橋などの構造物の設置からイベント設備など多岐にわたる利用内容を利用者や打合せし、条件等を整理・審査して許可書を発行します。河川利用を許可制にすることで災害発生を防止し、更なる利用の促進を図ります。

淀川河川事務所
占用調整課
占用調整第一係長
多田 隼颯

エピソード

利用申請の審査が重要なものではありますが、申請前の打合せや内容確認も非常に重要です。この段階から審査が始まっているとすれば、**一つの案件に携わる期間は長くなります**。申請前から許可書発行まで関わった案件が完了し、工作物が利用されている場面を見た時や、自分が利用者として利用した際には大きな達成感を感じます。

身に付くスキル

説明力

河川に関する法律や許認可申請について知識のない方がほとんど。専門用語や難しい言葉で説明するのではなく、**わかりやすい用語**で伝えられるようになります。

建設業・不動産業



建設業界を良くするための 業務を行う。

町の小さな建設業者から大企業まで、様々な業者と接点を持ち、建設業界を良くするための業務を行っています。建設業関係の許認可や指導監督の事務を行ったり、政策や法律などに反映させるための生の声を聞いたり、建設業に関連する様々な事を行っています。

近畿地方整備局
建設部
建設産業第一課 係員
綾 瑛斗

エピソード

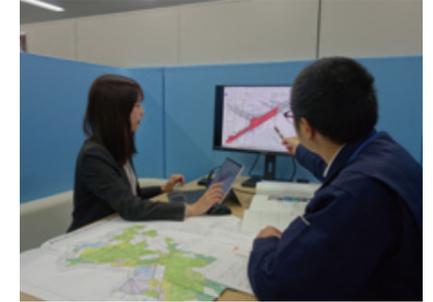
法律や関連文書に触れることが多いですが、文字を読んでもわからない事はたくさん。そんな時、最前線に立って業者さんと話をする上司のお手本を見て、相談し、サポートを受けながらどう対応すべきか考えることができました。業者さんの悩みも色々ありますが、自分で聞きとり**適切なアドバイスで審査が通った時は嬉しかった**です。

身に付くスキル

コミュニケーション力

日々、業者の方々と接点を持つことが多く、相手が何を伝えたいのかを的確に聞き取り、**自分の言葉にして相手に伝える力**は特に身についたと感じています。

まちづくり



近畿のまちづくりを 支援する。

都市計画とは、まちが今後どのように成長し、発展していくのかを示す「まちづくりの指針」です。まちづくりは地方公共団体が中心となって進めますが、私たちは近畿のまちづくりに関して広域的な視点から法令に基づく審査や助言をすることで、より良いまちづくりを後押ししています。

近畿地方整備局
建設部
計画管理課 係員
石川 この美

エピソード

都市計画は生活に密接した分野であり、公園整備や駅前再開発、鉄道の高架化(踏切の廃止)など多様な取り組みが行われています。自分が関わった事業が完成し、**まちに賑わいが生まれ、人々が笑顔になる様子**を目にした時、ニュースやSNSで「便利になった」という声を聞くと、まちづくりに携わる責任とやりがいを強く感じます。

身に付くスキル

調整力

地域の意向を尊重したうえで、法令等による視点から対応・調整する力が身につきます。また組織内外に説明する機会も多いため、要点を正確に簡潔に伝える力が身につきます。

採用職種と主な業務内容



よくある質問

<h3>調査・計画</h3> <p>事業実施のための現状調査・整備効果・経済性や環境影響評価などの実施・計画、関係機関との調整</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>設計・積算</h3> <p>事業実施のための施工方法・経済性などの検討、最適な設計と費用の算出</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>
<h3>用地・補償</h3> <p>河川、道路、港湾、空港などを整備するための用地取得、土地所有者などに対する損失の補償に関する事務</p> <p>行政</p>	<h3>経理・契約</h3> <p>予算管理・歳入・支払、決算などの経理事務、請負契約の締結・物品購入・国有財産の管理などの契約事務</p> <p>行政</p>
<h3>施工監督</h3> <p>発注した工事を設計通りに進めるための監督・指導、現場における問題の地元・関係機関との協議・検討</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>維持・管理</h3> <p>国土交通省が管理する公共物の維持・補修・情報提供、河川・道路敷地使用の許認可</p> <p>行政 土木 電気 機械</p>
<h3>国土政策</h3> <p>地域のニーズを的確に捉え、学識経験者や有識者とともにプランを作成し、社会資本整備の方向性を提示</p> <p>土木 電気 機械 建築</p>	<h3>防災</h3> <p>風水害、雪害、地震等、自然災害への備え及び災害対応</p> <p>行政 土木 電気 機械 建築</p>
<h3>都市・住宅・まちづくり・建設産業</h3> <p>建設業、不動産業等の監督・指導、都市計画、区画整理、公営住宅等に関する許認可等</p> <p>土木 行政</p>	<h3>総務</h3> <p>給与、福利厚生、研修等に加え、庁舎運営や公文書管理等、組織全体を幅広くサポートする業務</p> <p>行政</p>

Q 初任給や諸手当は？

A 大卒程度の初任給は、232,000円です。高専卒でも国家公務員一般職試験に合格すれば、大卒者と同様の給与が支給されます。手当は主に以下の内容があります。

- ・超過勤務手当(残業代)
- ・期末・勤勉手当：1年間に俸給等の約4.65月分
- ・地域手当：(例)大阪市に勤務する場合、俸給等の16%を支給
- ・通勤手当：交通機関を利用している者等に、定期券相当額(最大月15万円)
- ・住居手当：借家(賃貸アパート等)に住んでいる者等に、月額最高2.8万円 (令和8年4月1日現在)

Q 就業時間や休暇は？

A 1日7時間45分勤務です。
 大阪市内の勤務地：9:15～18:00 (休憩12:00～13:00)
 それ以外の勤務地：8:30～17:15 (休憩12:00～13:00)
 5:00～22:00の間に勤務時間を割り振ることができるフレックス勤務も可能です。その場合、4週で155時間を確保できるよう割り振ります。その他、7～9月の間の平日3日間連続取得できる夏季休暇や病気休暇などの制度があります。

Q 仕事は1人をするのですか？

A 仕事は組織で行います。課長などの管理職、係長等、主任・係員がチームとなって働いています。個人の業務についても上司と相談しながら進めるので、困ったことがあればチームで解決していきます。

Q 希望する部署へは行けますか？

A 採用前に、勤務地や職務に関する希望を伺います。また採用後も、同様の希望を提出することができます。

Q 転勤があると聞いていますが、宿舎はありますか？

A 単身用の宿舎(寮)、家族で住める世帯用宿舎が管内各地にあります。また宿舎に住まず、民間の賃貸住宅を借りた場合にも、家賃に応じた住居手当が支給されます。

Q 配属先や異動は？

A 本局をはじめ、管内にあるすべての事務所が異動の対象になります。配属部署は概ね2～3年で変わるケースが多く、地方公共団体などへの出向もあります。一方、同じ庁舎内・課内の異動もあるため、必ずしも「異動＝引っ越し」ではありません。

Q 異動が多いと仕事に慣れるのが大変では？

A 異動によって新しい仕事を担当する時、はじめは戸惑うこともありますが、先輩や同僚、上司に相談しながら取り組むことで次第に慣れてきます。また講習会や研修で知識を習得する機会も多く、スキルアップの体制が整っています。年数が経つと、様々な部署で積んだ経験が活かされます。

Q 技術系で土木以外の専攻でも大丈夫？

A 土木職以外にも電気職・機械職・建築職が活躍しています。また、上記以外を専攻(農学系・理学系・林学系)してきた職員も近年増えています。人物重視の選考を行いますので、土木を専攻していなくても不利になることはありません。入省してから研修や実務などを通じて、必要な知識を習得できますので安心してください。

[環境]

著名人に会える。

事業の完成式典で運営スタッフをした際、知事や市長など普段ニュースで見るとな方々のそばで仕事をする機会があり、「やっぱり国交省スゲー」と感動。家族や友達にも自慢しました。

(令和3年入省・土木)



[働き方]

外出しがち。

公務員は静かにデスクワークしているイメージでしたが、実際は現場に出て工事の進捗確認をしたり、県庁や市役所などを訪問して打合せしたり、意外と活発に動きまわっています。

(令和6年入省・土木)



舞鶴

仕事とプライベートのメリハリが素晴らしい。定時後に釣りに行けて、平日も休日のように楽しい。

(令和5年入省・土木)



◎ 本局

はじめが都市部から離れた地域での配属だったため、都市部での働き方に馴染めるか不安でしたが、実際に働いてみると、働き方に大きな違いはなく、むしろ地方で培った現場力を活かして、安心して仕事に取り組めた。

(平成25年入省・土木)

◎ 豊岡

山に囲まれた生活から、海に面した生活へ。風の強さや天気の違い、夏の遊び場の多さなど、新たな経験を楽しみながら見知らぬ土地で過ごした1年は、度胸を育ててくれた。

(令和6年入省・土木)



◎ 紀伊山系

山奥の現場が多い分、道中の道の駅で見つけた観光情報をもとに休日は観光スポットに出かけ、行動の幅が広がった。

(平成28年入省・土木)



「零井気」

ゼロから学べる。

専門知識がないと仕事についていけないのではと不安でしたが、「気負わず仕事をしながら学べばいい」と上司に言ってもらい、安心して業務に取り組んでいます。わからないことがあれば丁寧に教えてくれる環境が整っています。

(令和6年入省・土木)

おしえて先輩!

国交省職員のリアル

学生時代に描いていたイメージと、実際に働き始めて知った現実とのギャップ。入省1~2年目の先輩たちの驚きや発見をご紹介します。

(令和3年入省・行政[事務])

「動き方」

運転免許は必須ではない。仕事で車に乗るときは若手が運転するのだと思っていました。ペーパードライバーなので不安でしたが、実際はルートを知った外部委託の運転手さんがいるので、安心して現場に出られます。

[仕事内容]

規模が桁違い。

1年目から何億円もの予算管理や、河川整備のための業務発注、コンサル業者との打合せなどに携わりました。最初から責任ある仕事に携わることには驚きつつも、そのスケールの大きさにやりがいを感じています。

(令和4年入省・土木)



[休暇]

しっかり休める。

休暇が比較的とりやすく、年次休暇や夏季休暇を生かして趣味の旅行に行くことができる。

(令和6年入省・土木)

◎ 福井

渋滞状況や人口減少などの社会課題。地方に暮らすからこそ課題を肌で知り、国交省として何ができるか自ら考えるようになった。

(平成31年入省・土木)

◎ 姫路

その地域ならではの食べ物やイベントにたくさん触れることができ、「住めば都」ということをもっと体感した。

(令和7年入省・行政[事務])

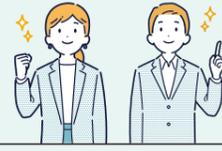
大規模事業は地方に多い。

日本最大規模の流水型ダムに携わることで自分の仕事に自信を持つことができた。

(平成31年入省・土木)

◎ 足羽川ダム

成長への道すじ



学べる環境

経験や所掌に応じて様々な研修があります。入省3年目(事務)、5年目(技術)までの必須研修では同期が集まり、お互いの成長を確かめ合う貴重な場でもあります。

事務必須研修

新規採用研修(1年目)

国家公務員としての心構えや基礎的な知識を身につけます。

行政基礎II期(3年目)

事務官の業務全般に関する知識を付与し、総合的な知識を得て実務能力を身につけます。

行政基礎I期(2年目)

総務・経理・用地・管理の幅広い知識を習得し、実務能力の向上を図ります。

災害対応(TEC-FORCE)研修(3年目)

被災自治体への技術的支援に必要な能力を身につけます。

6年目以降は「用地事務(上級)」や「経理専門」など、より専門的な分野の研修を行います。

技術必須研修

新規採用研修(1年目)

国家公務員としての心構えや基礎的な知識を身につけます。

災害対応(TEC-FORCE)研修(3年目)

被災自治体への技術的支援に必要な能力を身につけます。

建設技術研修(1年目)

実務に活かせる基礎的技術力を早期に身につけます。

構造物設計研修(4年目)

構造物の特性を理解し、施工・維持管理を意識した設計理念を身につけます。

河川・道路技術(初級)研修(2年目)

円滑に業務を進めるため、総合的な土木技術を身につけます。

環境技術研修(5年目)

環境課題に対する必要な専門知識を身につけます。

6年目以降は「ICT活用」や「BIM/CIM」など、より専門的な分野の研修を行います。

キャリアパス

THIS IS MY CAREER PATH.

異動の度に不安もあったが、得るものはより大きかった。

入省以来、2~3年ごとに異動し、多種多様な業務に携わってきました。新しい部署に就くことに不安やプレッシャーはありましたが、知識や経験を積み、さまざまな立場の方々と接することによって人間的に成長できたと実感しています。課長補佐となった今も、アドバイスやサポートをしてくれる方に感謝し、つねに前向きに取り組むことを心がけています。



事務官

小林 理沙

1999年入省

河川部 水政課 課長補佐

現在

河川部水政課 課長補佐

河川に関する許認可、適正利用、敷地管理、訴訟・管理瑕疵の対応など行う。

23年目

姫路河川国道事務所 河川管理第一課長

初めての管理職。未経験の業務にも対応が求められ大変な場面も多かったが、信頼できる先輩のおかげで、何とか乗り切ることができた。

11年目

阪神国道事務所 用地第二課 係長

用地交渉は自分に向いていないと思っていたが、地権者に説明を繰り返し、信頼を築いていくことに楽しさややりがいを感じた。

6年目

総務部 会計課

旅費事務、証拠書審査等を行う。旅行は様々なパターンがあり問合せが多く、慣れるまで大変だった。

12年目

六甲砂防事務所 用地課 係長

六甲山系グリーンベルト整備に必要な土地の取得等を行う。交渉の難しさより土地の境界が分かりにくい山の中の調査に苦労した。

16年目

建政部 建設産業課 係長

マンション管理に関する苦情や住民同士のトラブルなど対応に苦慮。

建政部 計画管理課 係長

3年目

総務部 厚生課

河川管理の仕事から一変し、貯金・財形、各種助成、医療経理、宿舎に関する事務に携わる。

1年目

姫路工事事務所 河川管理第一課

事務官でありながら技官の係長が直属上司。仕事のイロハから土木の専門用語まで丁寧に教えてもらった。

周囲の支えとともに、女性技官の道を切り拓く。

女性技官が少ない時代、道路系では初めての女性出張所係長に任命されました。後に続く女性技官たちのためにも失敗は許されないと緊張したのですが、工事業者の方たちは女性に対する言葉使いや対応について会議を開いたそうです。そこまで気遣ってくださったから悩むことなく働けたのだと感謝しました。今も人との関わりがいちばん大切だと思っています。



技官

菅沼 幸江

1992年入省

京都国道事務所 副所長

第1子誕生

夫婦で育児短時間勤務を使い、早めに仕事復帰。

現在

京都国道事務所 副所長

京都府南部地域の直轄道路管理、共同溝事業、電線共同溝事業、広報業務を行う。

33年目

兵庫国道事務所 工事品質管理官

初めて配属される事務所で改築事業路線の工事調整。不安より期待が大きかった。

12年目

長岡京市役所 広域道路課 課長補佐

京都縦貫自動車道の地元調整。自治体は住民との距離が近くやりがいがあった。

建政部 都市整備課 街路係長

9年目

滋賀国道工事事務所 堅田維持出張所 管理係長

初めての係長。後に続く女性技官のためにも失敗しないようにせねばという思いがあった。雪害基地等ははまだ女子トイレは無かった。

向日市 道路整備課 担当課長

4年目

京都国道工事事務所 調査課

初めての直轄道路関連の仕事。一生懸命だったが今考えると空回りだったかも。

1年目

企画部 都市調査課

夜間学校に通いながら働いた。阪神淡路大震災で一瞬にして状況が変わった。

24年目

京都国道事務所 計画課長

初めての管理職で緊張の連続。仕事はハードだったが子どもの学校行事には積極的に参加した。

コロナと介護が重なり多忙を極める

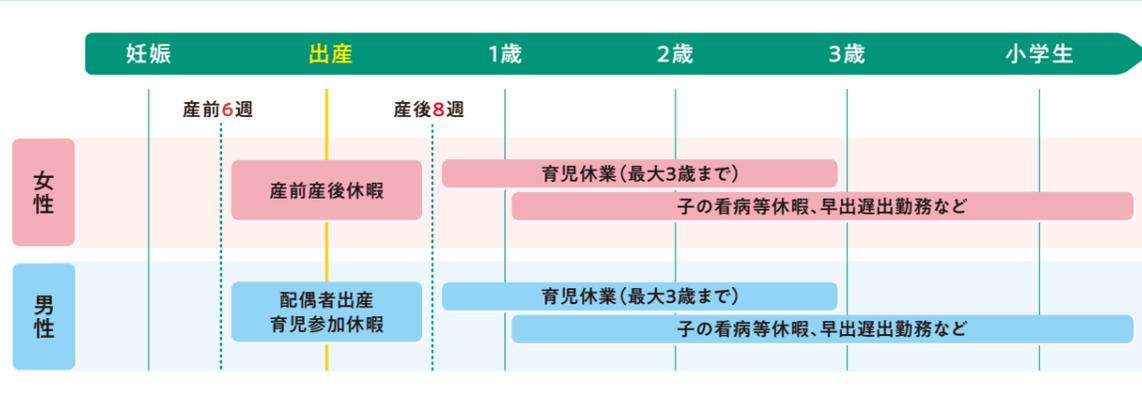
仕事も、暮らしも、大切に。

ワークライフバランス

近畿地方整備局には、妊娠・出産・育児・介護のために利用できる様々な両立支援制度があります。テレワークやフレックスタイム制度等のほか、年次休暇(翌年への繰越制度あり)・特別休暇(夏季・結婚等)・病気休暇等の制度があり、多くの職員がそれらを活用しながら働いています。また、計画的に年次休暇を取得する「ポジティブ・オフ」の取り組みも進めています。



出産育児サポート制度の例



育児・介護等との両立支援制度

出産する場合

- 産前産後休暇(産前6週間、産後8週間)

3歳未満の子供を養育する場合

- 育児休業(配偶者の就業等の状況に関わらず取得可能)
- 超過勤務の免除(本人の請求)

小学校就学前の子供を養育する場合

- 育児短時間勤務(勤務時間を1日3時間55分[週19時間35分]等に短縮)
- 育児時間(1日の勤務時間の一部[2時間まで]を勤務しないことが可能)

小学校3年生までの子供を看護する場合

- 子の看病等休暇(年5日まで[対象となる子が2人以上の場合は年10日])

小学校就学前の子供を養育、又は父母等を介護する場合

- 深夜勤務・超過勤務制限(深夜勤務は免除、超過勤務は月24時間・年150時間以内に制限)

小学校就学前の子供を療養、放課後児童クラブに通う小学校の子供を出迎え、又は父母等を介護する場合

- 早出遅出勤務(始業・就業時刻の繰り上げ又は繰り下げで勤務)

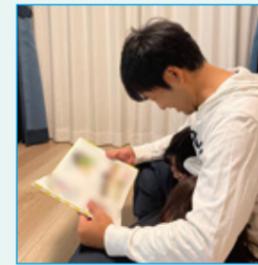
配偶者、父母、配偶者の父母の介護など必要な世話をする場合

- 短期介護休暇(年5日まで[対象となる要介護者2人以上の場合は年10日])

配偶者、父母、子、配偶者の父母等を介護する場合

- 介護休暇(6ヶ月の期間内で必要と認められる期間)

WORK STYLE



男女ともに仕事と育児を両立できる環境へ

道路事業を実施するための補助金や交付金を自治体に適正に交付するため、申請書類の審査業務等を担当しています。現在はフレックス勤務やテレワークを活用しながら共働きの妻と家事・育児を分担し、保育園の送迎を交代で行っています。男性・女性を問わず、誰もが仕事と育児を両立しやすい環境が整いつつあると感じています。

事務官

朝日野 修平

2007年入省
近畿地方整備局 道路部
路政課 指導調整係長



テレワークを活用して柔軟に働く

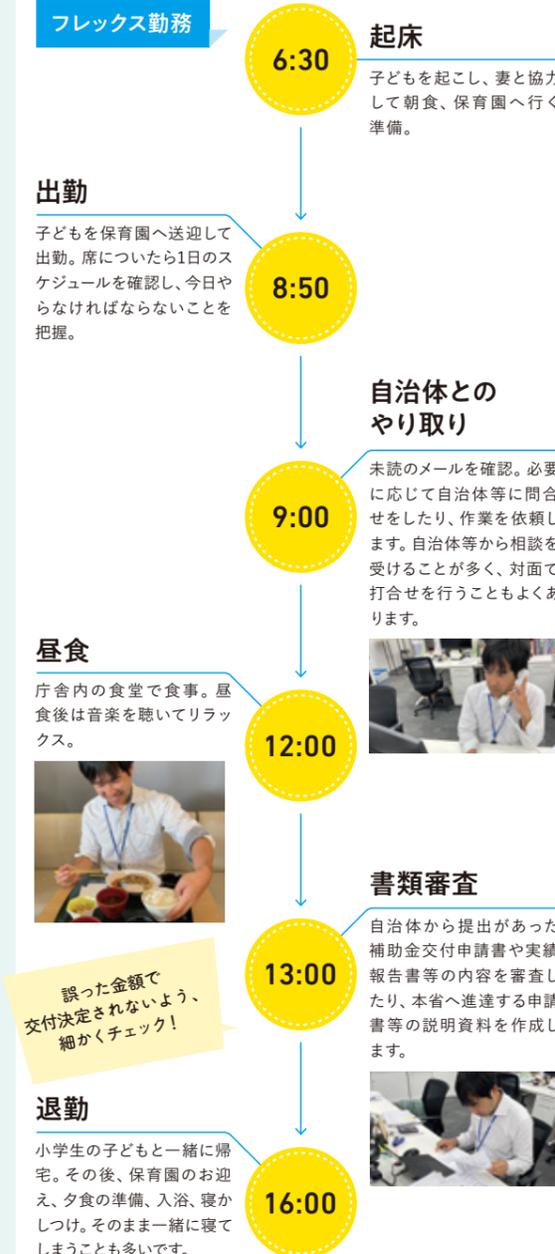
大戸川ダム建設事業に携わっており、事業計画の作成や業務の発注、予算管理をしています。ダムの建設事業は規模や影響力が大きいため、地域の方との意見交換やダムについて知ってもらうための「ダムフェス」の企画もしています。8:30~17:15勤務を基本としつつ、ワークライフバランスを考慮してテレワークを活用したりしています。

技官

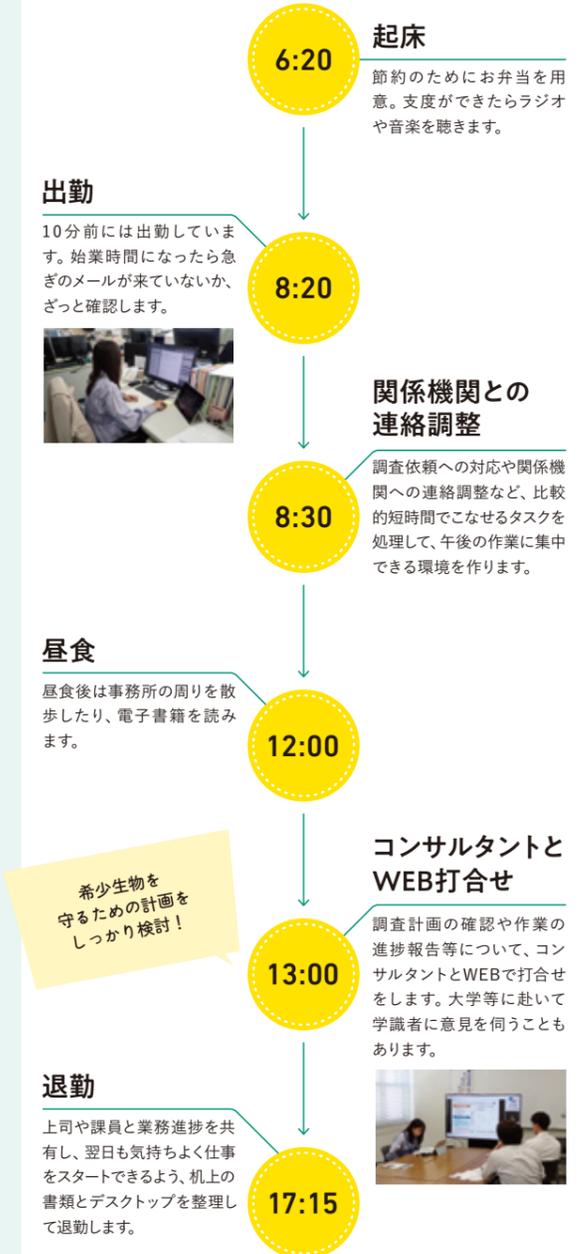
十川 絵理

2019年入省
大戸川ダム工事事務所
調査設計課 調査係長

フレックス勤務



誤った金額で交付決定されないよう、細かくチェック!



希少生物を守るための計画をしっかりと検討!